

「文学のまち大津」 ブランディング事業について

文化振興課

（１） 背景

- 令和6年大河ドラマ『光る君へ』の放送を契機に、大津の文学的魅力への注目が上昇している。
- 大津は『源氏物語』のほか、俳句・かるた・百人一首など、多彩な文学資源が存在し、今村翔吾氏や宮島未奈氏などの現代作家も在住している。
- これらの資源は、市民の誇りや愛着の源であると同時に、観光・教育・まちづくりなど多方面への展開が可能な大きなポテンシャルを秘めている。

（２） 事業の概要

- 5本柱（ブランディング戦略の策定、イベントの企画・実施、協議会の運営、ユネスコ創造都市ネットワーク加盟に向けた取組、プロモーションの実施）で推進する。
- 豊かな文学・歴史文化資源を整理・活用し、市民とともに再発見・共有していく取組とする。
- イベントやプロモーション、国際的ネットワークとの連携を通じて、「文学のまち大津」としての魅力を市内外に発信する。
- 令和7年度は、市民アンケートや協議会などを通じて、今後5年（R8～R12）のブランド推進ロードマップを策定する。

（３） 目指す方向性

- 市民が「文学のまち大津」であることを身近に感じ、自らのまちに誇りと愛着を持てるようにする。
- 「文学のまち大津」の知名度と価値を向上させ、その先に 2027年ユネスコ創造都市ネットワーク（UCCN）文学分野への加盟 を目指す。

- 令和7年4月に創造都市ネットワーク日本（CCNJ）へ参加。今後はユネスコ創造都市ネットワーク（UCCN）への参画も視野に入れ、国内外の都市連携を通じて大津の文化の魅力を広く発信していきます。

ユネスコ創造都市ネットワーク（UCCN）

- ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）も、文化の多様性を保持しつつ、世界各地の文化産業が潜在的に有している可能性を都市間の戦略的連携により最大限に発揮させるための枠組みとして、2004年より「創造都市ネットワーク」事業を開始し、複数の分野で創造都市を認定、相互の交流を推進しています。
- 日本では、神戸市（デザイン）、名古屋市（デザイン）、金沢市（工芸）、札幌市（メディアアート）、鶴岡市（食文化）、浜松市（音楽）、丹波篠山市（工芸）、山形市（映画）、旭川市（デザイン）、臼杵市（食文化）、**岡山市（文学）**、越前市（工芸）の12都市が認定を受けておられます。
（2026（令和8）年1月現在）

岡山市（文学）

- 2023年に日本で初めて文学分野でユネスコ創造都市ネットワークに加盟
- 岡山文学フェスティバルを核に、市民参加型の文学活動を展開。
- 吉備路文学館や坪田譲治文学賞を軸に、文学資源の蓄積・発信と評価の仕組みを形成。
- 2026年2月に国際会議を開催するなど、UCCN都市として国際交流を推進。

文学のまちの取組により目指すべき姿(案)

文学を通じたシビックプライドの醸成

多様な文学に親しむ
市民の増加

「文学のまち大津」の
知名度・価値の向上

ブランディング戦略

戦略をもとに、イベント、プロモーションを計画・実施

イベント

- ・かるた体験教室
- ・俳句ワークショップ
- ・源氏物語講演会
- ・芭蕉の句碑巡り
- ・文学名所のガイドツアー

などを想定

アンケート調査

文学に関する
・関心
・ニーズ
・資源

文学資源 の掘り起こし

- ・再発見
- ・再評価
- ・情報発信

団体 ヒアリング調査

文学活動団体の
・課題
・ニーズ
・支援

プロモーション

- ・ロゴの作成
- ・ショート動画の公募
- ・文学資源観光マップの作成
- ・文学活動団体の情報発信
- ・SNSの活用

などを想定

ユネスコ創造都市ネットワークの加盟

文学と他分野
との連携
(音楽や食文化等との協働)

中長期的な
ロードマップ
(計画的・継続的な取組)

行政の
リーダーシップ
(全市的な取組)

産学官の
連携・共創
(まちの活性化)

文学資源の
ブランド化
(社会的・経済的価値の創出)

文学を通じた
国際貢献
(国際的なネットワーク)

予算（委託費）：1,815万円 実施期間：令和7年度～令和8年度
委託事業者：(株)地域計画建築研究所（アルパック）

① ブランディング戦略の策定

市民アンケートやヒアリングで市民の意識・ニーズを把握し、専門家の助言を受けながら、「文学のまち大津」推進ロードマップを策定し、施策の方向性を明確化する。

② イベントの企画・実施

文学まち歩きや朗読会など、市民や地域団体等と連携したイベントを実施し、幅広い世代が文学を楽しめる機会を提供することで、シビックプライドの醸成とまちの賑わい創出を図る。

③ 協議会の運営

市民、団体等が参画する「文学のまち大津推進協議会」を設置し、意見交換や進捗確認を通じて、市民参画型のブランディングを推進する。

④ ユネスコ創造都市ネットワーク（UCCN）加盟に向けた取組

専門家の助言を受け、ユネスコ創造都市ネットワーク（UCCN）加盟に向けた体制づくりと国際的ネットワーク形成を推進する。

⑤ プロモーションの実施

ロゴや動画などを活用し、HPやSNS等の広報媒体で発信する。市民向けの浸透と同時に、国内外へのPRを強化し、大津の文学資源のブランド価値を高める。

全体スケジュール

スケジュール（令和7～8年度） （株）アルパック委託期間

	令和7年度	令和8年度
ブランディング戦略の策定	<p>戦略策定</p> <p>9月～10月 11月～2月 3月～6月</p> <p>市民アンケート調査 ヒアリング調査</p> <p>戦略骨子案作成</p> <p>戦略素案作成</p>	
イベントの企画・実施	<p>★ 11/15湖都の葉マルシェ</p> <p>イベント 源氏物語 かるた関連など</p>	<p>★ 秋期：湖都の葉マルシェ</p> <p>協議会（実行委員会）によるイベントの実施 (R8年度予算 1,000万円)</p>
協議会の運営	<p>3月</p> <p>第1回協議会</p>	<p>第2回協議会</p> <p>第3回協議会</p> <p>第4回協議会</p> <p>第5回協議会</p>
UCCN加盟に向けた取組	<p>随時 専門家に相談</p>	<p>令和8年度中に★ UCCN加盟のための フォーラムを予定</p> <p>★ 12月申請書提出予定 新規加盟認定結果は令和9年秋頃見込</p>
プロモーションの実施	<p>11月</p> <p>ロゴ制作</p>	<p>動画やSNSを通じた発信</p>

(1) 文学関連団体のヒアリング

- ・ 市内の俳句団体、短歌団体、かるた関連団体、文芸サークルなど、多様な文学団体に対してヒアリングを実施。
- ・ 各団体の取組みを可視化し、その成果を『広報おおつ』11月号からの1年間連載予定。

(2) 市民アンケートの実施（完了）

- ・ 対象3,000人へ郵送＋オンライン方式で実施（9月～10月）
（有効回収率：約40%）
- ・ 今後の施策を検討するための基礎データとして整理中。
- ・ 市民の多くは、文学に関する取組の認知度が低い一方で、紫式部・百人一首など大津固有の文学資源には比較的高い関心が示される。

(3) 「文学のまち大津」ロゴ完成

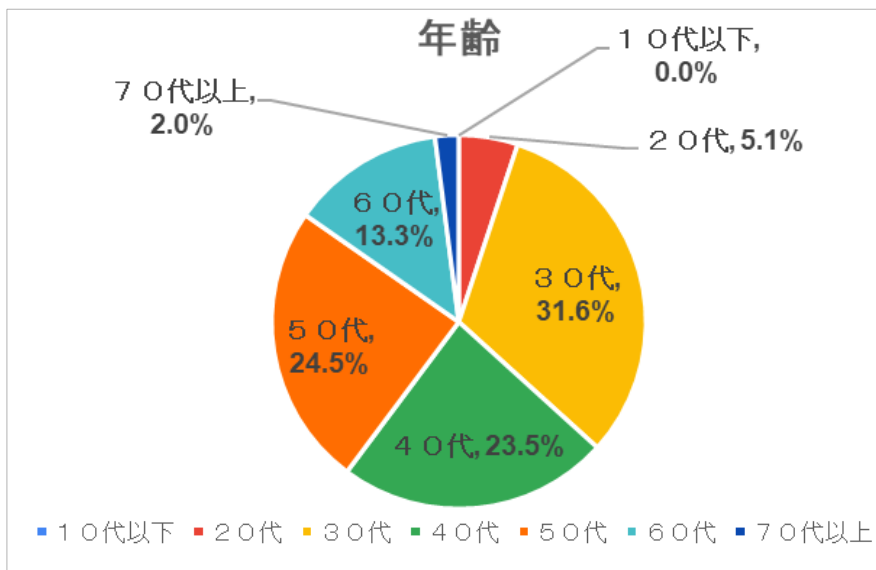
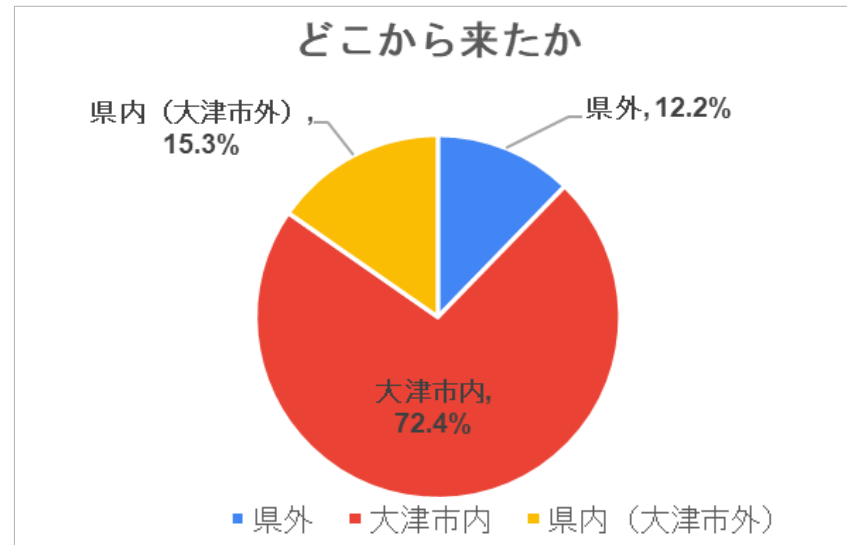
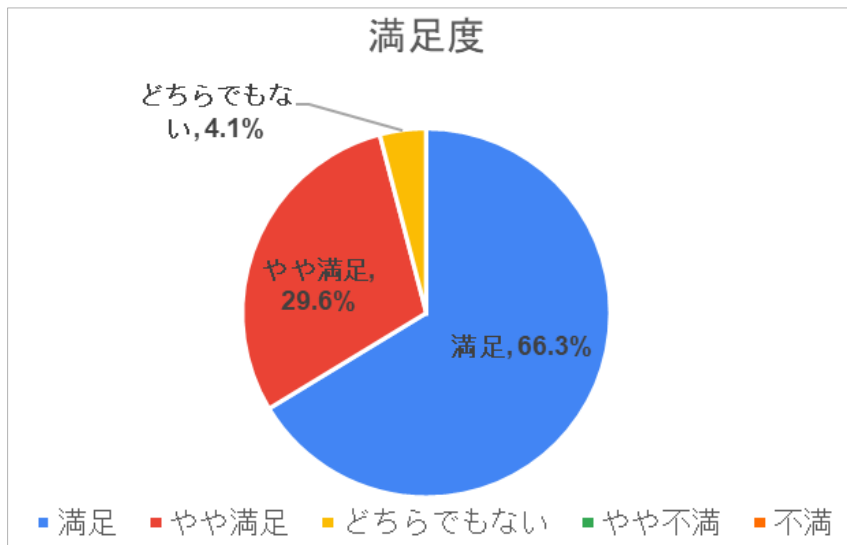
- ・ イベントや広報物に使用し、ブランドの一体感を高める。
- ・ 湖都の葉マルシェにおいてのぼり旗を掲出する。
- ・ 市HPに掲載するとともに、プレスリリースを行い、広く活用の周知を図る。



湖都の葉マルシェ内の「文学のまち大津」PRブース



来場者アンケート 回答=98



- 満足と回答した方は約96%
- 幅広い年齢層の方が来場
- 約3割が市外（県外）から来場

来場者の声

- 老若男女が参加できるイベントだった。
- たくさんの方が自分の本を販売しているんだと見て、話して、感じる事が出来た。
- 大津市民として「文学のまち大津」をアピールすることは素晴らしいと思いました。また石山寺と紫式部が大津にもたらした大きな財産を再確認できて感激です。
- ZINEと言う自費出版小冊子の存在も知ることができて、ものを書く人の情熱に触れることができたのも学びとなりました。

出店コンテンツ概要

文学作品のフリーマーケット

出店者 90者

■ コンテンツ

当日出店者90者による自費出版を中心とした文学作品のフリーマーケットを実施。本屋では出会えないような個性豊かな唯一無二のZINEや古本が並び、来場者は作者と直接話すことができた。

■ 出店者の声

「自分の作品の感想を直接聞くことができ、グッとくるものがありました」

「手に取ってもらえたのがすごく嬉しかった」



大津の文学PRブース・出版者等ブース

■ コンテンツ

湖都の文学や青春21文字のメッセージなどの大津の文学のPRや大津おやこ劇場による、しおり作りワークショップを実施。源氏物語関連グッズの販売、坂本城に関する展示などを実施。

市内・県内出版社等による出版物の販売やワークショップを実施。ZINEづくりワークショップでは、「ZINEの魅力を初めて知り、自分でも作りたい」等の担い手の発掘・育成に繋がる声もあった。



出店コンテンツ概要

リサイクル本の譲渡会・移動図書館

■ コンテンツ

リサイクル本の譲渡会と移動図書館を実施。

譲渡会は大人気コンテンツとなり、イベント開始早々から多くの方の来場があった。来場者アンケートにおいても満足度が高かった。移動図書館にも多くの来場者が集まった。

スタンプラリーポイントでもあったため、はじめて移動図書館車を見た、はじめて利用したという声もあり、移動図書館の魅力を知ってもらう良い機会となった。

- 移動図書館「さざなみ号」
利用者数45人 貸出冊数108冊 新規登録者1人
- 図書館のリサイクル本の譲渡会
一般書 準備2,300冊 提供2,100冊



湖都の葉おはなし会・児童書の譲渡会

■ コンテンツ

6団体による読み聞かせ等を実施。

《図書館本館利用団体》

大津市文庫交流会、大津おはなしのとびら、外国絵本の読み聞かせの会、朗読ボランティア「サークルDo」

《北館利用団体》おはなし会「たーたか」

《その他》近江怪談クラブ

また、児童書を約1,300冊準備して、980冊を提供。

サテライト会場のブースは、お菓子の家をコンセプトに装飾を実施。子どもたちの笑顔が沢山見られた。

- 湖都の葉おはなし会 来場者数延べ102人
- 児童書の譲渡会
児童書準備1,300冊 提供980冊



出店コンテンツ概要

青春21文字のメッセージ特別展示会

■ コンテンツ

今年度の入選作品100点を展示。さらに滋賀大学教育学部の協力で、メッセージを絵にした作品の展示も実施。小学生など小さな子どもから大人まで、滋賀県のみならず全国各地から応募された作品が並んだ。

スタンプラリーポイントとして設置し、来場者によるお気に入り作品の投票も実施したこともあり、イベント中は終始多くの方が来場された。今後、投票を集計し、湖都の葉マルシェ賞が決定予定。「初めて青春21文字のメッセージを知った。」「微笑ましいものやキュンとするものまでいろいろあり、癒されました。」という声もあった。

推定来場者数：1,000名以上 推定投票者数：500名以上



トークイベント

■ コンテンツ

「文学の寺」石山寺鷺尾座主×直木賞作家今村翔吾氏によるトークイベント。第1部で鷺尾座主単独講演、第2部で鷺尾座主と今村氏によるトークセッション、第3部で今村氏による単独講演を実施。司会はびわ湖放送の森田恵奈アナウンサー。講演テーマは「文学と大津」。また、今村氏の単独講演の後には、今村氏の書籍販売とサイン会を実施。

推定来場者数：100名（指定席50名、立見席50名）



(5) かるたの聖地でかる体験

「競技かるた」の魅力を体験できるプログラムや日本の伝統文化である「かるた」に触れる参加型の体験イベントを開催。

- 日時：2026年2月8日（日）
- 場所：近江勸学館
- 主なプログラム
 - 札飛ばし：競技かるた選手のようにカッコよく札を払って、遠くまで飛ばそう！
 - 坊主めぐり：裏返したかるたの読み札を使って札をたくさん集めよう！大人にもちょっと懐かしいゲーム。
 - ジャンボかるた：大きな札でかるた体験。読まれた札を走って、探して、取る！



かるたの聖地で かる体験

参加無料
有料プログラム
一巡あり

湖都の
言の葉

文学のまち大津
Osu Biwa no Utsuwa

日本の伝統文化である小倉百人一首かるたに触れ、
競技かるたの魅力を体験できる、参加型のイベントです。
同日開催の競技かるた大会（近江勸学館フロンティア大会）も
自由に観覧いただけます。

2026年2月8日（日）

近江勸学館 大津市神宮1 | 近江神宮内

体験・参加型イベント 11:00~15:00
競技かるた大会（観覧のみ） 9:00~18:00

◆ かるたの聖地 大津 ◆

大津市にある近江神宮は、小倉百人一首の巻を語る「歌の出の
かりの葉の 葉を立み わが歌は 雲にぬれつつ」を伝えた天智
天皇の御葬所です。その敷にも大津市には百人一首歌人である津
太を祀る神社や、寛政期に開館の深いお堂を百人一首ゆかりの
場所が数多くあり、「かるたの聖地」と呼ばれるようになりました。

◆ 競技かるた ◆

小倉百人一首を詠い、読み上げられる歌の上の句を解いて、空白く
下の句の札を取り合う競技です。0.1秒差を争う速くはなすです。

札飛ばし

競技かるた選手のように
カッコよく飛ばそう！
（体験）約2分/1回

ジャンボかるた

大きな札でかるた体験。
読まれた札を走って、探して、取る！
（体験）約15分/1回

坊主めぐり

裏返したかるたの読み札を
たくさん集めよう！（大人にも
懐かしいゲームです。）
（体験）約15分/1回

11:00~12:10

競技かるた
体験講座

ゆる〜いかるたの読み方から
読みかたまで、初心者から
上級者まで楽しめる！
40分/70分
（定員）16名（観覧可申込）

13:00~14:00

競技かるた
レベルアップ講座

競技かるた経験者限定
読みかたから読みかたまで
読みかたまで！
40分/60分
（定員）16名（観覧可申込）

◆ 事前申込 ◆

このQRコードを
スマホから読み取り、
事前申し込みください。

- ・お申し込みは無料ですが、お申し込みが必要です。
- ・お申し込みは2月5日までです。
- ・お申し込みは、お申し込みの人数までです。

【主催】大津市 【共催】近江館かるた協会
【協賛】大津あさひの会 【後援】ちほりふるま会
【問い合わせ】大津あさひの会事務局TEL:091-7768-8808

12

(6) 源氏物語から立ち上げる “湖都の言の葉” in 石山寺

千年の時を経て読み継がれてきた「源氏物語」の魅力を生かして、市内外に伝えるため、紫式部が「源氏物語」を着想した石山寺を舞台にトークイベントや読書会等を開催。

- 日付：令和8年2月21日（土）
- 場所：大本山 石山寺 明王院／拾翠園
- プログラム
 - トークセッション「現代に読む源氏物語～変わってきたものと変わらぬもの～」(山崎ナオコーラさん&石山寺座主・鷺尾龍華さん)
 - 「源氏物語」読書会
 - 湖都の葉ミニマルシェ in 石山寺 など




源氏物語から立ち上げる “湖都の言の葉” in 石山寺

—時代を経て変わってきたものと変わらぬもの—

令和8年2月21日(土)
10:00～16:00 [参加無料]

石山寺(明王院/拾翠園)にて

千年の時を超えて、今も読み継がれる「源氏物語」。その物語が生まれるきっかけとなる石山寺を舞台に、古典と現代を結ぶ文学イベントを開催します。

トークセッションや読書会、文学作品のフリーマーケットなど、多彩なプログラムを通して、時代を超えて受け継がれてきた「言の葉」の力に触れてみませんか。

『源氏物語』と石山寺、両者が携り出す奥深い魅力を、ぜひこの機会に体感してください。

主催 文庫舎
協賛 石山寺、上原山園地協会(本園地) 湖都の葉 Lake Biwa's Words (湖都の葉) 湖地域計画推進研究所 (アトピア)

☎ 075-221-5132(休) 📧 toyota-hiro@arpek.co.jp

湖都の葉

(7) 「文学のまち大津」意見交換会

「文学のまち大津」をテーマに、身近に感じていることや、取り組んでみたいこと、これからの大津に期待することなどについて、参加者同士で自由に意見交換を行った

- 日付：令和8年2月14日（土）
- 場所：市民文化会館
- プログラム
 - アイスブレイク（自己紹介）
 - 「文学のまち大津」ミニレクチャー 基礎調査やアンケート結果の紹介
 - 意見交換（グループトーク）



「文学のまち大津」に関する組織

「文学のまち大津」推進協議会（案）

意見聴取会的な役割 メンバー（敬称略・順不同）
龍谷大学政策学部教授（学識経験者）只友 景士
成安造形大学 副学長 加藤 賢治
石山寺 座主 鷺尾 龍華
大津市文化連盟（俳句）七里 源一
電車と青春21文字プロジェクト 代表 福井 美知子
（株）しがぎん経済文化センター 角間 利昭
（公社）びわ湖大津観光協会 金子 博美
（一社）ホンミライ 今村 翔吾

「文学のまち大津」実行委員会（案）

文学イベントの企画検討、運営的な役割
メンバー：湖都の葉マルシェや文学活動に関わっている方
（公社）びわ湖大津観光協会
（株）まちづくり大津
「湖都の文学」編集委員
※随時、主体的に取り組みたい方の参画を得ながら
実行委員会を構成

意見反映

意見
反映

意見
反映

掘り起
こし

文学のまち大津
ワーキングチーム

意見交換会

多様な市民や文学関連プレイヤーの意見や取組の把握、今後プレイヤーとなる方の発掘
メンバー：一般公募市民

文化全般・文化振興計画に関する合議体

湖都文化推進審議会

文化振興計画の意見答申・諮問機関

湖都文化庁内推進本部

文化振興計画の進捗管理など

専門部会
立ち上げ

庁内連携体制

文学のまち大津 ワーキングチーム

（湖都文化推進本部会議の専門部会）
「文学のまち大津」に関する
所属の職員＋庁内公募職員で構成

令和7年度学校夢づくり+（プラス）「作家等との交流事業」について

一般社団法人ホンミライと連携し、作家やアナウンサーなど、言葉や表現などのプロの方々から、本の魅力や、夢や希望を持つことの大切さについて講話をいただくことで、子どもの読書活動を推進するとともに、子どもたちが自分らしい生き方や夢を実現することを目的とする。

- 年間複数校で実施（令和7年度：7校）
- 事前に取り組んだ短作文や意見文、小説の書き出しを講師が直接講評したことで、文章表現の工夫や読み手を意識することの大切さに気付き、書くことへの意欲が高まった。

